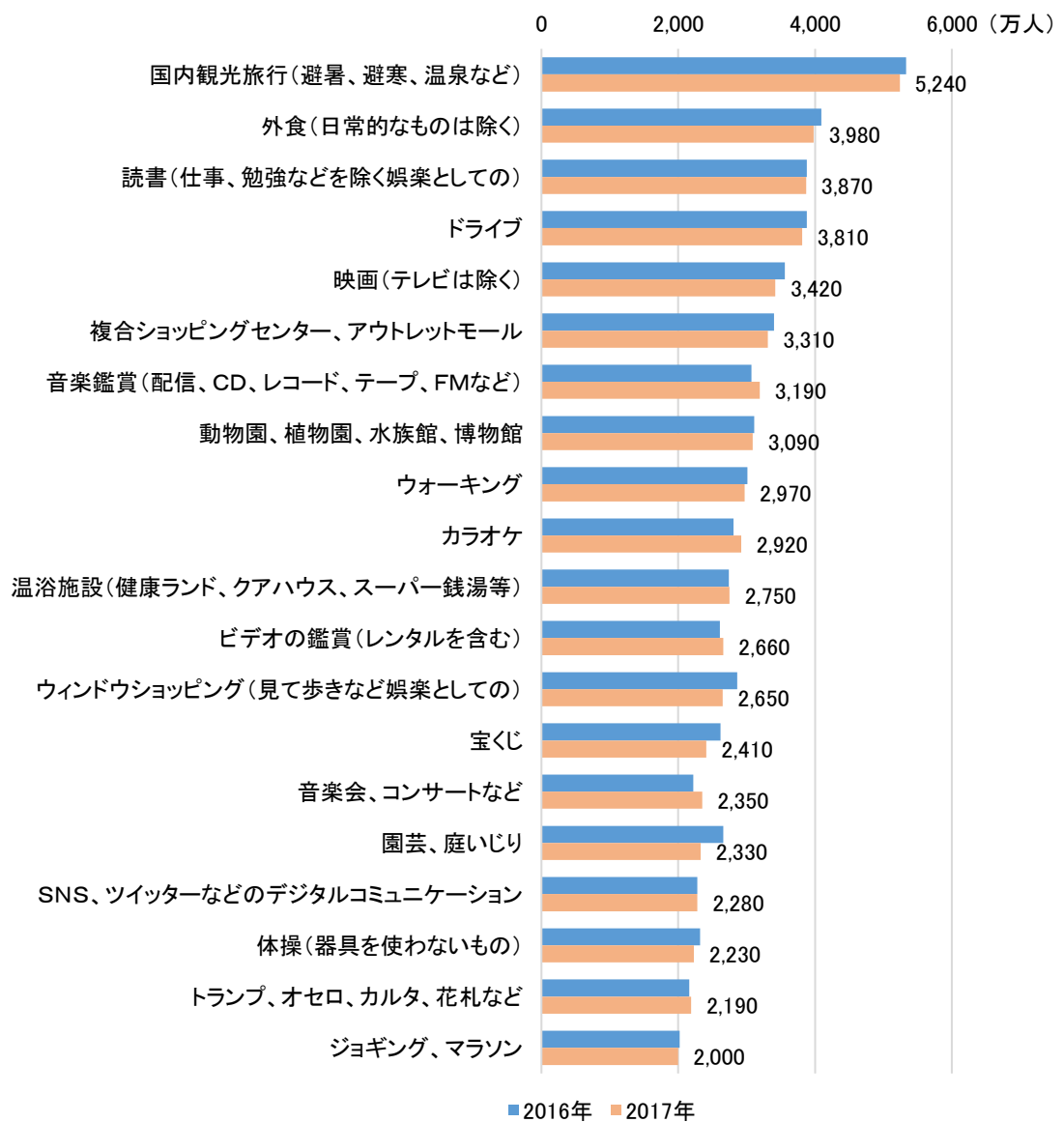

【資料編】

1 観光を取り巻く環境

1)国内の観光動向

①余暇活動の動向

2017(平成 29)年の国内における余暇活動の参加人口は「国内観光旅行(避暑、避寒、温泉など)」が 5,240 万人となり、前年と比べて規模はやや縮小したものの7年連続の首位となっており、根強い人気があります。

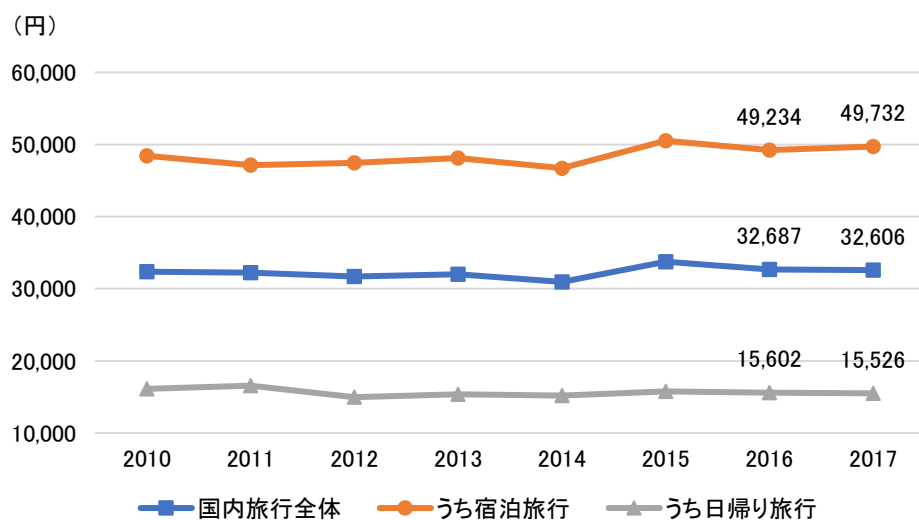


図：余暇活動の参加人口上位種目(2016年～2017年)

[資料:レジャー白書((公財)日本生産性本部)]

②国内旅行1回当たりの単価

2017(平成 29)年の日本人国内旅行の一人1回あたり旅行単価は、宿泊旅行が 49,732 円で前年比 1.0%増、日帰り旅行が 15,526 円で前年比 0.5%減となっています。

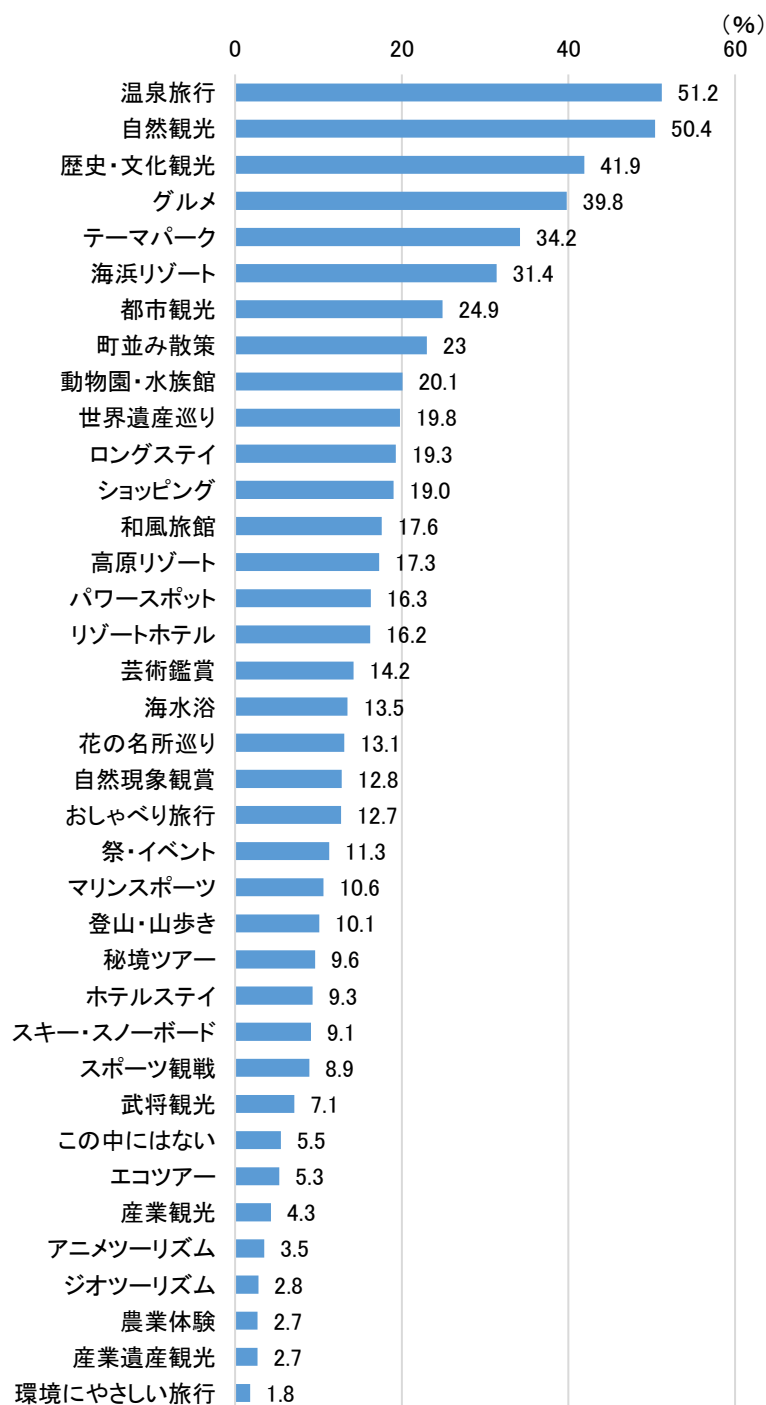


図：日本人国内旅行一人1回あたり旅行単価の推移

[資料:旅行・観光消費動向調査(観光庁)]

③行ってみたい旅行タイプ

今後行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行タイプをみると、「温泉旅行」を筆頭に、「自然観光」(自然や景勝地を見てまわる観光旅行)、「歴史・文化観光」(歴史や文化的な名所を見てまわる観光旅行)、「グルメ」(おいしいものを食べる旅行)の順となっています。

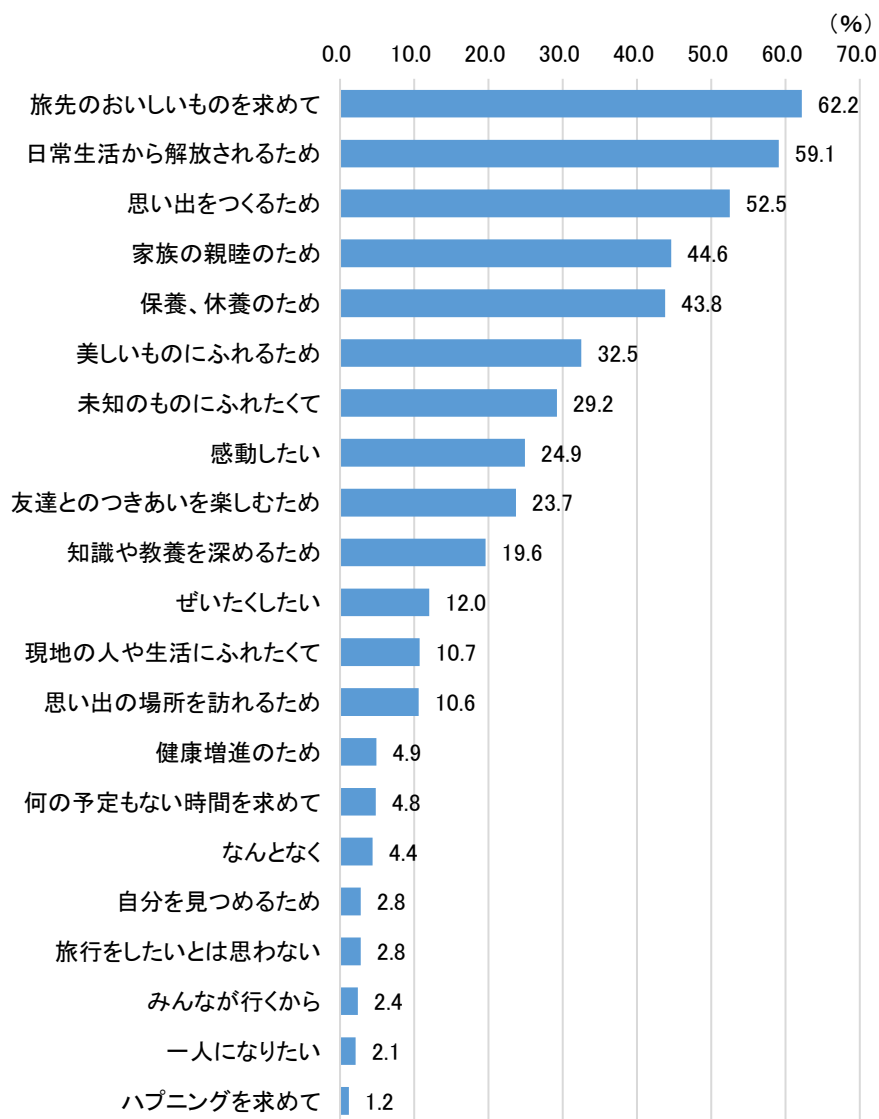


図：行ってみたい旅行タイプ(複数回答)

[資料:旅行年報 2017]

④旅行の動機

国内宿泊旅行、海外宿泊旅行をしてみたいと思う動機については、「旅先のおいしいものを求めて」が62.2%と最も多く、続いて「日常生活から解放されるため」が59.1%、「思い出をつくるため」が52.5%、「家族の親睦のため」が44.6%となっています。



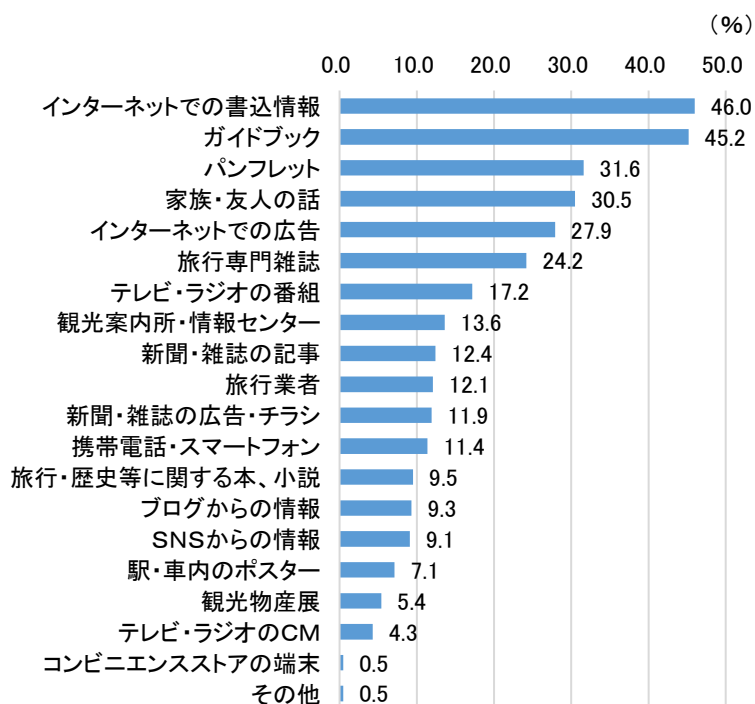
図：宿泊旅行の動機(複数回答)

[資料:旅行年報 2017]

⑤情報提供の動向

国内の宿泊観光旅行に出かける前に参考にする情報源は「インターネットでの書込情報」が46.0%、「ガイドブック」(45.2%)と並んで首位になっており、インターネットの利用割合が高くなっています。

また、「家族・友人の話」が4位にランクされていることから、口コミ情報が旅行動機を左右する重要な情報源となっていることがうかがえます。

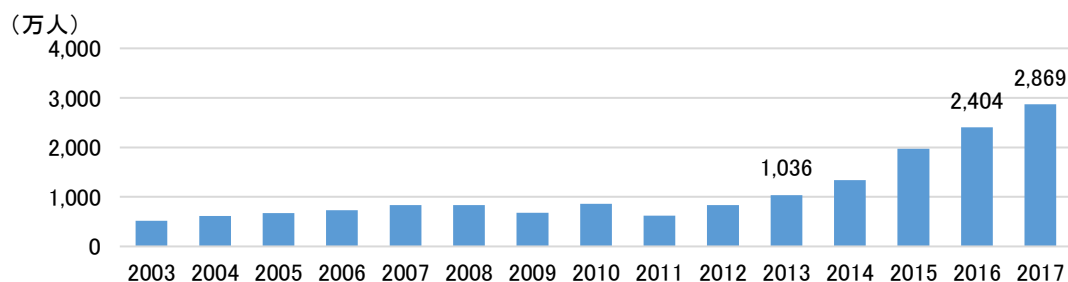


図：国内の宿泊観光旅行に出かける前に参考にする情報源(平成27年度)

[資料:公益社団法人 日本観光振興協会「平成28年度版観光の実態と志向」]

⑥訪日外国人数の動向

2003年のビジット・ジャパン事業開始以降、訪日外国人数は増加しています。リーマンショックや東日本大震災の影響で落ち込みが見られたものの、円安により近年急増し、2017年は2,869万人となっています。



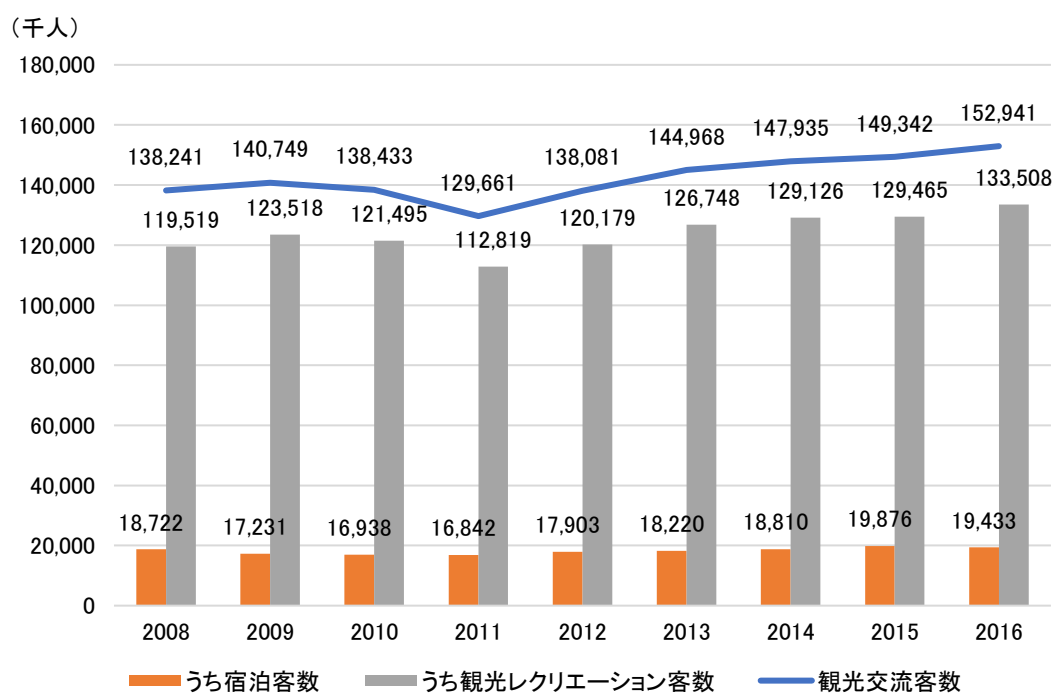
図：訪日外国人旅行者数の推移

[資料:日本政府観光局(JNTO)]

2) 静岡県の状況

①観光交流客数の動向

静岡県における観光交流客数は、2012(平成 24)年以來5年連続で前年度を上回り、2016(平成 28)年度は1億 5,294 万人、前年度比 2.4%増となっています。そのうち宿泊客は 1,943 万人、前年度比 2.2%減となり、2011(平成 23)年度以來5年振りに減少する結果となっています。



図：観光交流客数の概要

[資料:平成 28 年度静岡県観光交流の動向]

2 掛川市の概要

①掛川市の歴史

本市は遠州灘に面し、温暖な気候と生活しやすい地形に恵まれ、5世紀前後の築造とされる大型古墳もあり、古代から中央政権を支える重要な地方都市が営まれてきました。

戦国時代には、掛川城、高天神城、横須賀城と3つの城が地方の要衝として重要な役割を果たし、その後江戸時代には、掛川城と横須賀城を中心に城下町が形成され、市内を通る東海道沿いに、掛川、日坂の2つの宿場が置かれたことから、城下町としての発展と共に、宿場町として交易の中継地としての役割を果たしつつ栄えてきました。

明治 22 年に市町村制が施行された当時、当市は1町 28 村に分かれていましたが、昭和 29 年から昭和 35 年にかけての昭和の大合併によって、掛川市、大須賀町、大浜町、城東村^{きとうむら}が誕生し、昭和 48 年に大浜町と城東村が合併して大東町が誕生しました。

そして、掛川市、大東町、大須賀町は、平成の大合併によって平成 17 年4月に合併をして現在の掛川市となりました。

②掛川市の観光の歩み

本市には、平成6年に日本初の本格木造天守閣として復元された掛川城、戦国時代に攻防が繰り返された高天神城跡、横須賀城跡、あるいは横須賀、日坂の昔の街並み、世界農業遺産に認定された茶草場農法といった歴史・文化資源があります。

つま恋リゾート彩の郷、掛川花鳥園などのレジャー施設、大東温泉シートピア、倉真温泉、法泉寺温泉などの温泉施設を中心とした観光産業をきっかけとした地域振興への取組を行っています。

また、原野谷川上流のならここの里キャンプ場、粟ヶ岳、遠州灘海岸などの自然地域資源や、キウイフルーツカントリーJapan やサンサンファームなどの観光農園もあります。

近年では、サイクリングコースなども整備され、自然や農ある風景、街並みなどを楽しむ方が増えています。

③交通

市中央部には、JR東海道新幹線、JR東海道本線、東名高速道路、国道1号が通り、南部には国道 150 号が横断しており、市内交通や広域交通は比較的充実しています。平成 21 年(2009)には市の東側約 15km に富士山静岡空港が開港し、平成 24 年(2012)には新東名高速道路が開通するなど、関東、関西の両経済圏にアクセスしやすい立地となっています。

市内で運行するバスは、路線バスが3路線、自主運行バスが8路線あります。

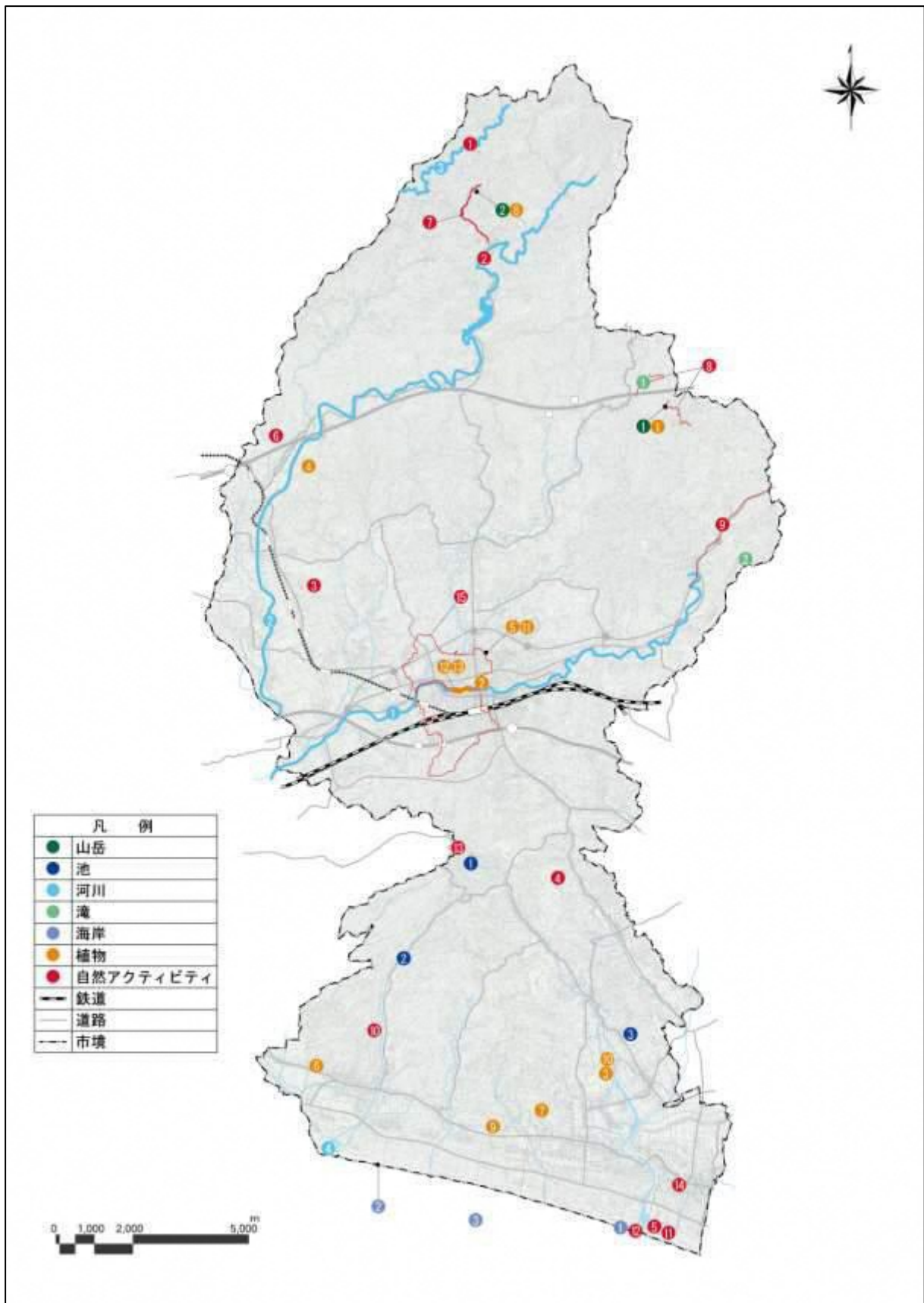
3 掛川市の地域資源の再確認

1) 地域資源

① 自然資源

小分類	図No.	名称	主な所在地
● 山岳	1	栗ヶ岳 <small>あわがたけ</small>	東山
	2	大尾山 <small>おびさん</small>	居尻
	3	八高山 <small>はっこうさん</small>	黒俣
● 池	1	小笠池 <small>おがさ</small>	入山瀬
	2	西大谷池 <small>にしおおや</small>	横須賀
	3	田ヶ池 <small>たがいけ</small>	中
● 河川	1	逆川・緑の精神回廊 <small>さかがわ</small>	掛川
	2	原野谷川	居尻
	3	田代川	明ヶ島
	4	弁財天海浜公園・弁天大橋 <small>べざいてん</small>	沖之須
	5	潮騒橋 <small>しおさいばし</small>	国安
● 滝	1	松葉の滝 <small>まつば</small>	倉真
	2	菊水の滝(海老名の滝) <small>あびな</small>	八坂
● 海岸	1	大浜海岸	浜野
	2	大須賀海岸	沖之須
	3	遠州灘	-
● 植物	1	栗ヶ岳の桜	東山
	2	掛川城公園の桜	掛川
	3	シオーネ周辺の花畑	大坂
	4	加茂荘花鳥園の花菖蒲・アジサイ <small>はなしょうぶ</small>	原里
	5	龍尾神社のしだれ梅	下西郷
	6	横須賀城跡の梅	横須賀
	7	大浜公園の桜	大浜
	8	大尾山のカイドウ	居尻
	9	中新井池公園の御衣黄	大渕
	10	本勝寺のアジサイ	川久保
	11	龍尾神社のアジサイ	下西郷
	12	掛川桜	城下
	13	ユリ	城下

小分類	図No.	名称	所在地
●自然アクティビティ	1	明ヶ島キャンプ場	炭焼
	2	ならここの里 キャンプ場	居尻
	3	静岡よみうりカントリークラブ	家代
	4	ミオス菊川カントリークラブ	小貫
	5	シートピアオートキャンプ場	国安
	6	掛川グリーンヒルカントリークラブ	寺島
	7	大尾山ハイキングコース	居尻
	8	粟ヶ岳ハイキングコース	東山
	9	小夜の中山ハイキングコース	日坂・佐夜鹿
	10	西大谷三十三番観音堂巡りハイキングコース	各所
	11	大東ビーチスポーツ公園運動場	国安
	12	大東総合運動場付近海岸線	国安
	13	小笠山憩の森	入山瀬
	14	<small>ふくずみまる</small> 福住丸(地引網)	千浜
	15	緑の精神回廊	掛川

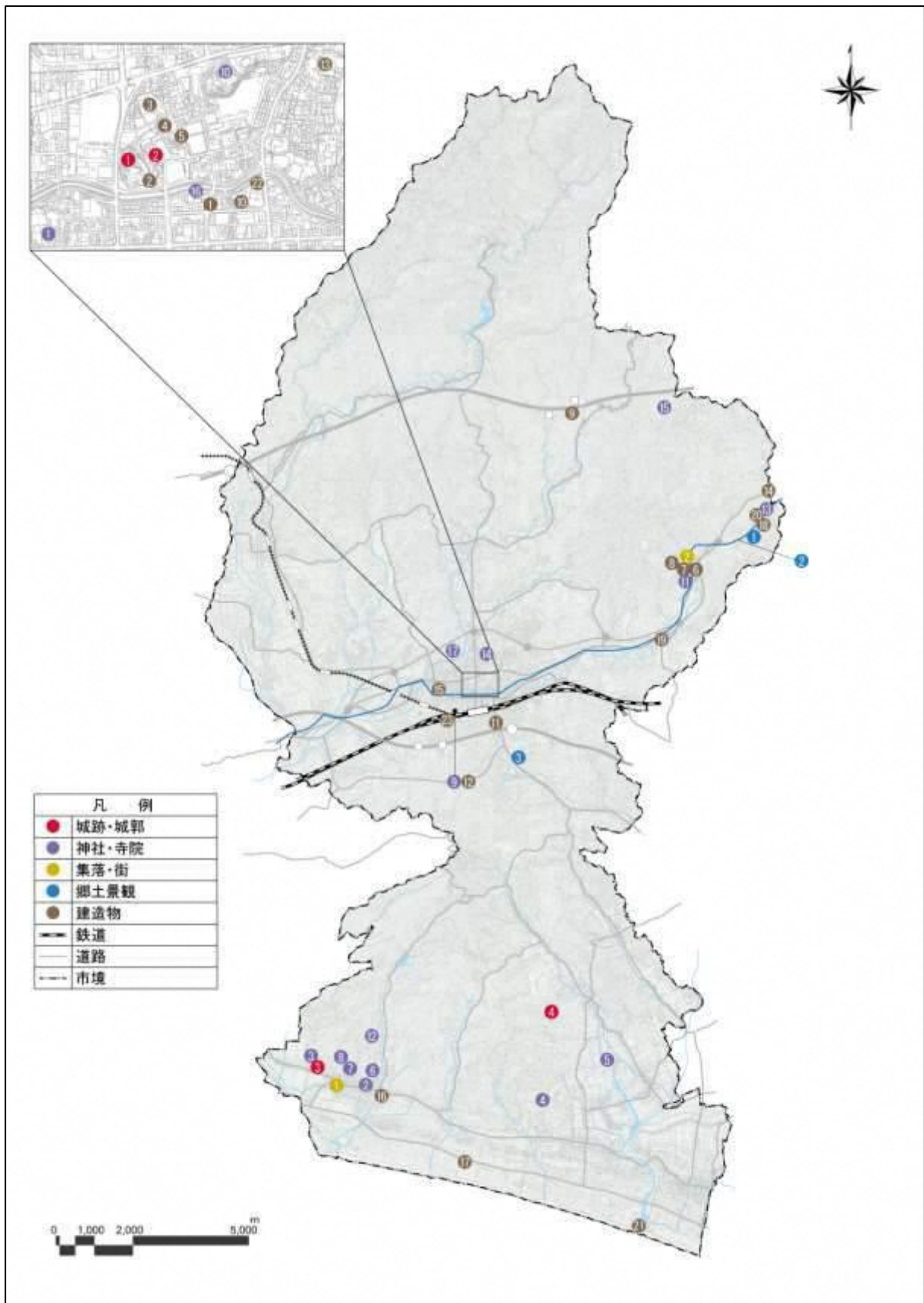


図：自然資源

②歴史資源

小分類	図No.	名称	所在地
●城跡・城郭	1	掛川城天守閣	掛川
	2	掛川城御殿	掛川
	3	横須賀城跡	西大渕
	4	高天神城跡	上土方嶺向
●神社・寺院	1	円満寺(藤の門)	掛川
	2	三熊野神社	西大渕
	3	撰要寺	山崎
	4	貞永寺	大坂
	5	本勝寺	川久保
	6	龍眠寺	西大渕
	7	窓泉寺	西大渕
	8	本源寺	西大渕
	9	広楽寺	中央二丁目
	10	龍華院大猷院 霊屋	掛川
	11	事任八幡宮	八坂
	12	普門寺	西大渕
	13	久延寺	佐夜鹿
	14	龍尾神社	下西郷
	15	阿波々神社	初馬
	16	三光稲荷	城下
	17	永江院	和光
●集落・街	1	横須賀城下の街並み	横須賀
	2	日坂宿の街並み	日坂
●郷土景観	1	小夜の中山	佐夜鹿
	2	旧東海道	
	3	陣場峠	杉谷
●建造物	1	大手門・番所	城下
	2	太鼓櫓	掛川
	3	竹の丸	掛川
	4	大日本報徳社	掛川
	5	報徳図書館	掛川
	6	川坂屋	日坂
	7	萬屋	日坂

小分類	図No.	名称	所在地
●建造物	8	<small>ふじぶん</small> 藤文	日坂
	9	百観音	倉真
	10	ゲイスベルト・ヘンミィの墓	仁藤町
	11	キリシタン燈籠(大日寺)	南
	12	三代目尾上菊五郎の墓	中央町
	13	太田家家臣の墓(正願寺)	仁藤町
	14	夜泣石	佐夜鹿
	15	平将門十九首塚	十九首
	16	町番所	西大湊
	17	<small>せいめいづか</small> 晴明塚	大湊
	18	西行法師の歌碑	佐夜鹿
	19	一里塚	伊達方
	20	扇屋	佐夜鹿
	21	潮騒橋	国安
	22	仁藤の大獅子保存小屋	仁藤町
23	遠江塚	下俣	
年中行事(祭り・伝統行事)	-	三熊野神社大祭	西大湊
	-	中八坂神社祇園祭	中
	-	小笠神社矢矧祭	入山瀬
	-	掛川祭	中町
	-	高天神社例大祭	上土方嶺向
	-	ちいねり	横須賀
	-	時の記念日 太鼓打ち鳴らし式	掛川



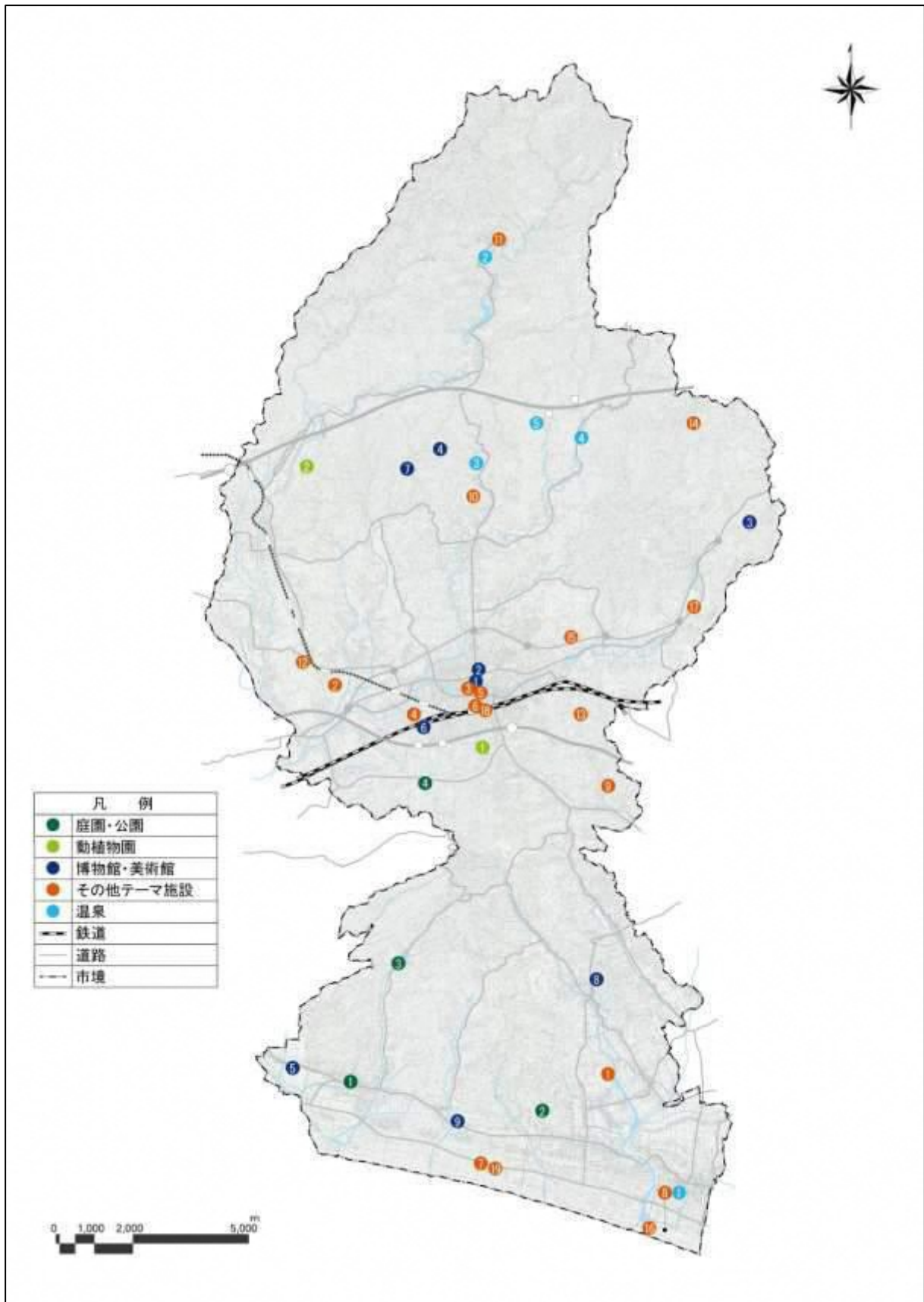
図：歴史資源

③その他文化資源

小分類	図No.	名称	所在地
●庭園・公園	1	清水邸庭園	西大渕
	2	大浜公園	大坂
	3	西大谷ダム公園	横須賀
	4	森林果樹公園	下俣
●動植物園	1	掛川花鳥園	南西郷
	2	加茂荘花鳥園	原里
●博物館・美術館	1	掛川市二の丸美術館	掛川
	2	掛川市ステンドグラス美術館	掛川
	3	小夜の中山浮世絵美術館夢灯	佐夜鹿
	4	ねむの木こども美術館	上垂木
	5	田園空間博物館南遠州とうもんの里総合案内所	山崎
	6	資生堂アートハウス・企業資料館	下俣
	7	吉行淳之介文学館	上垂木
	8	吉岡彌生記念館	下土方
	9	歴史民俗資料館	大渕
●その他テーマ施設	1	文化会館シオーネ	大坂
	2	ヤマハ掛川工場	領家
	3	二の丸茶室	掛川
	4	生物循環パビリオン	長谷
	5	こだわりっば	城下
	6	掛川観光協会	南
	7	サンサンファーム	大渕
	8	大東飲泉シートピア(物産館)	国安
	9	キウイフルーツカントリーJapan	上内田
	10	戸塚ぶどう園(ぶどう狩り)	上西郷
	11	カントリーファーム佐藤園(ぶどう狩り)	居尻
	12	つり堀わんかせ	富部
	13	つま恋リゾート彩の郷	満水
	14	東山いっふく処	東山
	15	タミヤ掛川サーキット	淡陽
	16	風力発電・大東マリーナ	国安
	17	道の駅掛川	八坂
	18	これっしか処	南
	19	赤ずきんちゃんのおもしろ農園	大渕

小分類	図No.	名称	所在地
●温泉	1	大東温泉シートピア	国安
	2	森の都温泉 ならここの湯	居尻
	3	法泉寺温泉	上西郷
	4	倉真温泉	倉真
	5	倉真赤石温泉	倉真
食	-	掛川茶	-
	-	イチゴ	-
	-	メロン	-
	-	トマト	-
	-	芋切干し	-
特産品	-	葛布	-
	-	横須賀凧	-
芸能・興行・イベント	-	遠州横須賀凧揚げまつり	西大湊
	-	掛川遠州灘“砂の祭典”	国安
	-	掛川納涼まつり	駅前
	-	三社祭礼囃子	横須賀
	-	仁藤町の大獅子	仁藤
	-	八坂神社祇園囃子	中
	-	瓦町のかんからまち	瓦町
	-	西町の奴道中	西町
	-	小夜の中山日の出会	小夜の中山
	-	年越三社会	三熊野神社
	-	東海道日坂宿駕籠駅伝	日坂
	-	初釜茶会	清水邸庭園
	-	桜まつり in ならここ	ならここの里
	-	掛川・新茶マラソン	上内田
	-	三熊野神社大祭写真コンテスト作品展	プラザ大須賀
	-	へら鮎釣大会	西大谷池
	-	七夕茶会	清水邸庭園
	-	七夕茶会の夕べ	二の丸茶室
	-	けっトラ市	駅前
	-	ストリートパフォーマンス“MATSURI”	大坂
-	だいとう・おおすか軽便ロマンウォーク	大東温泉シートピア	

小分類	図No.	名称	所在地
芸能・興行・イベント	-	お月見茶会	清水邸庭園
	-	「お月見の宴」茶会	二の丸茶室
	-	(一社)二科会選抜写真展	大須賀図書館
	-	遠州横須賀街道ちっちゃな文化展	横須賀
	-	遠州横須賀ちっちゃな盆踊り	三熊野神社
	-	掛川商工まつり	掛川駅北中心市街地
	-	菊花展	三の丸広場
	-	掛川市環境消費生活展	生涯学習センター
観光ボランティア	-	掛川観光ボランティアガイド「猫の手の会」	-
	-	遠州横須賀倶楽部	-
	-	掛川城戦国おもてなし隊	-
	-	高天神城観光ボランティアの会	-
	-	川坂屋の会	-



図：その他文化資源

2) 観光台帳にみる本市を代表する地域資源

「観光資源台帳」(公益財団法人日本交通公社)は、全国の地域資源を3つのランクで評価し、とりまとめたものです。

観光資源台帳に記載された本市の地域資源は、「掛川城」「掛川大祭」「三熊野神社大祭」で、本市のシンボルとなる建造物、伝統行事が挙げられています。いずれも評価 B(市町村を代表する資源であり、その土地のアイデンティティを示すもの。)となっています。

全国的に有名な観光資源は多くないかもしれませんが、本市には山岳などの自然資源、史跡や神社・寺院などの文化資源などさまざまな観光資源があります。

表 観光資源台帳に記載されている観光資源

No.	名称	大分類	小分類	評価
1	掛川城	人文	城跡・城郭・宮殿	S・A・ B
2	掛川大祭	人文	年中行事(祭り・伝統行事)	S・A・ B
3	三熊野神社大祭	人文	年中行事(祭り・伝統行事)	S・A・ B

[資料:JTBF 観光台帳]

※評価ランクについて、S(特 A 級資源):わが国を代表する資源であり、世界に誇示しうるもの。A(A 級資源):特 A 級に準じ、わが国を代表する資源であり、日本人の誇り、日本のアイデンティティを示すもの。B(特別地域観光資源):その都道府県や市町村を代表する資源であり、その土地のアイデンティティを示すもの。

3) 口コミサイトにみる近年人気のある地域資源

「トリップアドバイザー」は世界最大の旅行口コミサイトで、その人気ランキングは、全世界から過去 1 年間に投稿された口コミ評価をもとに、独自のアルゴリズムで集計したものです。

地域資源をトリップアドバイザー・ランキングの高い順にみると、「掛川花鳥園」「資生堂アートハウス」といった民間施設、「掛川城」「事任八幡宮」といった歴史的建造物に人気が集まっています。中でも掛川花鳥園は動物園部門で全国5位に選ばれました。

表 トリップアドバイザーのランキング上位の地域資源

No.	名称	No.	名称
1	掛川花鳥園	6	ねむの木こども美術館
2	掛川城	7	加茂荘花鳥園
3	資生堂アートハウス	8	高天神城跡
4	事任八幡宮	9	栗ヶ岳
5	大手門	10	横須賀城跡公園

[資料:トリップアドバイザー(2018年8月9日時点)]

4 市民グループインタビュー調査結果

◇調査の趣旨

掛川市観光振興計画策定に当たり、市民のニーズや提言等を把握し、計画策定に反映させるため、観光に係る活動を行っている市民を対象に、インタビュー調査を行い、意見を取りまとめました。

◇開催日時 2018年8月29日(水)9:30～11:00

◇参加者

以下の施設・団体から1名ずつ参加していただきました。

- ・ 大日本報徳社
- ・ 掛川城戦国おもてなし隊(ボランティアガイド)
- ・ 掛川まちづくり株式会社
- ・ こだわりっば
- ・ 掛川みなみ商工会
- ・ プラザ大須賀(南部観光案内所)
- ・ 桜木まちづくり協議会
- ・ 掛川観光協会

◇意見の概要

(1)掛川市の観光の強み・魅力

項目	意見の概要
海も山もあり自然が豊か	<ul style="list-style-type: none">・ 自然豊か。・ 北から南まで自然が豊か。・ 自然、気候の過ごしやすさ、海と山。・ 交通結節点から豊かな自然環境が近い。・ 海も山もある。・ 粟ヶ岳と茶文字。・ 変な人工物など、余計なものがない。
掛川駅～掛川城周辺は、魅力あるスポットがまとまっていて、歩く楽しさがある	<ul style="list-style-type: none">・ 駅からお城まで 400m以内でロケーションが良い。・ 掛川城周辺は歩く楽しさがある。・ 落ち着いた雰囲気、たたずまい。・ 市民も城周辺をたくさん歩いている。・ お城周辺に魅力あるスポットが多く、コンパクトにまとまっている。・ 駅の近くは、二の丸や資生堂など美術館が多い。・ 掛川城周辺地域の周遊チケット「掛川まる得パスポート」がよく使われている。

掛川市までの交通アクセスが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・東名インターや新東名インターがあり、アクセスが良い。 ・東名と新東名の IC がある。 ・新幹線、JR 等の駅がある。 ・新幹線が停まる。 ・静岡空港まで 30 分。 ・東京と大阪の中間で、新幹線が停まるのでよく同窓会が開かれている。
3つの城がある	<ul style="list-style-type: none"> ・城がある。 ・3城。 ・歴史、街、里山、城下町、技術がいろいろ詰まっている。 ・3つの見せる城がある。掛川城は 100 名城の 1 つ、高天神城は続 100 名城の 1 つ、横須賀城は川石の石垣。 ・掛川城御殿が現存 4 箇所 の 1 つ。天守は木造復元 2 天守の 1 つ。 ・天守のライトアップは新幹線や道路から目立ち宣伝になる。
歴史、文化が感じられる	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史が深い。 ・歴史、文化。 ・由緒ある施設や建物が多い。 ・木の文化が感じられる。 ・掛川は宿場町というより城下町のイメージ。
食が豊か	<ul style="list-style-type: none"> ・食材が良い。 ・海の幸、山の幸がある。 ・食が豊か。 ・地場産品がいろいろある。 ・お菓子屋が多い。
外国人観光客も来ている	<ul style="list-style-type: none"> ・掛川城の客層をみると、リピーター、外国人が多い。 ・掛川城には、ヨーロッパ客が多く、特にフランス人が多い。 ・お城の客の 1 割くらいは外国人。 ・横須賀にも外国人が来る。良い所がたくさんあると言ってくれる。
エコパ、つま恋リゾート彩の郷といった大規模な集客施設がある	<ul style="list-style-type: none"> ・エコパ、つま恋リゾート彩の郷 がある。 ・つま恋リゾート彩の郷。 ・エコパの集客力は強み。 ・エコパ目的で来た若い人がたくさん掛川駅を降りる。
人が穏やかで魅力がある	<ul style="list-style-type: none"> ・人が穏やか。 ・お祭り好きの市民が多い。 ・魅力ある人材がいる。
報徳	<ul style="list-style-type: none"> ・報徳。金次郎さん。 ・報徳。 ・報徳の教え。
街がきれい	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺が緑化されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみが落ちていなくて街がきれい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・深蒸し掛川茶が全国的に有名。 ・季節の花のラリーができています。梅、掛川桜、ソメイヨシノ、ユリ、アジサイ。 ・周辺市町と比べて宿泊施設が多い。

(2)掛川市の観光の弱み・課題

項目	意見の概要
観光客への 情報発信	<p><情報発信、PR></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信。 ・告知、宣伝、PR が課題。 ・PR はもう少しやりようがあるのではないか。 ・直虎ブームのときにもっと PR など便乗できたのではと思う。 ・縦割りで一本化されておらず、まとまった情報発信ができていない。 ・他所の駅では、柱に観光ポスターを掲示したり、観光が見える化している所もある。掛川駅では楽しみ方、巡り方がわからない。 ・戦国ロマンで3城をもっと売り込んではどうか。 ・郊外と中心市街地との連携ができていない。 ・歴史(建物や人物)について市内や市外に認知されていない。 <p><観光パンフレット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレットはピンポイントの紹介が多く、共有できるストーリーがない。 ・観光パンフレットの充実。 <p><SNS やホームページ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS や市のホームページでプロモーション動画を発信して PR してはどうか。 ・市のホームページに情報はあっても、少々さみしい。見にくくて探しにくい。 ・SNS を見れるのは海外の人や若い人。SNS だけではだめでアナログも必要。 ・観光協会のホームページにテーマに沿った巡り方が載っているが、探しにくい。
関係団体の連携や 情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨコの連携がなく、掛川全体のイベントの情報がわからない。 ・ヨコの連携がとれていないので情報を共有できていない。 ・南部と北部の取組みを理解できていない。 ・施設間同士のつながりがあまりない。 ・連携したり、応援し合ったりすることが十分でない。 ・まちなか連絡協議会で深い話し合いがあまりできていないのでは。 ・掛川城と温泉と南部の何かが写っているような観光ポスターはない。
南部と北部の交通の 便が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網。 ・南部と北部の交通の便が悪い。 ・南部と北部の情報やアクセスのつながりが課題。 ・バス代が高い。 ・掛川を観光しようと思うと移動手段がない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタカーセットの観光プログラムがあるとよい。 ・南部は自転車で移動する人も多い。
温泉があまり活用されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・倉真温泉に入ったことのない市民も多い。 ・温泉好きの女性は多い。温泉にもっと力を入れてもいいと思う。 ・温泉を組み込んだ観光ルートがあってもよい。 ・食事をするなどゆっくり温泉を楽しめると良いが、市営だと営業時間や食事サービスなど制限がある。
地域の資源の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・掛川城天守が老朽化している。民間の指定管理では限界がある。 ・指定管理も重要だが、必要なところは市が管理しないと資源として守られない。 ・お城のソメイヨシノが傷んでいる。桜をすべてカケガワ桜にすると、3月は花いっぱいだが、4月は楽しめなくなる。
おもてなしの意識が低い	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地だと思っている市民が少ない。 ・駅から降りてお茶のおもてなし、ウェルカム感が感じられない。
中心市街地の商店街が衰退	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が衰退している。 ・商店街の後継者がいない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・団体客が食事できる所が少ない。 ・観光の目玉がない。 ・滞在時間を長くする何かが必要。 ・Wi-Fiの整備が十分でない。 ・若者離れ。 ・駐車場がわかりにくい。 ・祭りを観に来てくれた人が飲み物を飲んだりする休憩所がない。

(3) 現在行っている観光に関する取組について

項目	意見の概要
大日本報徳社	<ul style="list-style-type: none"> ・報徳社の本社機能の業務が多く、観光客の案内が十分にできていない。 ・報徳社として他と連携したい。 ・若い方にどうやって報徳の教えを説明できるか考えている。
掛川城戦国おもてなし隊 (ボランティアガイド)	<ul style="list-style-type: none"> ・掛川城で英語ガイドがいつまでできるか。 ・ガイドボランティアの後継者が集まらない。
掛川まちづくり(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントと商店街の関わり、技術の伝承、魅力の発信の仕方、商店街のやる気、IT化に課題を感じている。 ・「カケガワバンドフェスティバル(KBF)」、「かけがわポップカルチャーサミット」を開催しているが、中心市街地に若者をどう取り戻すか。 ・街なかをどう周遊させるか。
こだわりっば	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに来たらこれを食べたい、これを食べるためにここに行きたい、と思えるような名物をつくりたい。 ・周りの施設などとの連携を強くしたい。

掛川みなみ商工会	<ul style="list-style-type: none"> ・大東と大須賀の交流を図りたい。南部のお互いの観光スポットを知り合うことから進めたい。 ・横須賀の「さ・し・す・せ・そ」のPR、維持をしていきたい。セット商品があれば良いが、各々製造者が違い、保存の仕方も違うので難しい。 ・「ちっちゃな文化展」のPR、維持をしていきたい。
プラザ大須賀 (南部観光案内所)	<ul style="list-style-type: none"> ・北部について聞かれたときに、資料が少なく対応に困ることがある。 ・まち案内のできるボランティアが限られている。 ・南部観光案内所は常勤職員が少ないので、外の協力を得てもう少し取組を充実したい。
桜木まちづくり 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・桜木の広報を発行しているが、さらに充実していきたい。 ・ホテルの鑑賞会を行っている。 ・桜木の歴史や名所を紹介する、宝の地図を作成中。
掛川観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・「何度でも訪れてみたくなるまちづくり」をスローガンとし、来てくれた方を最大限ご案内し、リピーターになってもらえるよう努めている。 ・掛川観光協会の人が少ない活動しにくい。

(4)これからの掛川市の観光振興のアイデア等について

項目	意見の概要
掛川らしいほどほどの観光地づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ほどほどの観光地で良いが、たくさん資源があるので、巡り方を表示したりして、後は来た人にお任せするのが掛川らしい。 ・住んでいる人が楽しいと感じているところに人が集まってくるみたいなイメージ。 ・住むには良く、ほどほど都会。ほどほどというのは魅力。 ・報徳の教えかもしれないが、ほどほどでわかまえて無理しないことが居心地の良さにつながっている。 ・掛川は商売っ気がない。それが良い所。 ・掛川の観光は川越とは違う方向かもしれない。 ・細くても長く続けられる観光の取組が掛川らしい。
市内の連携や協働を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・行政には能動的な思考や行動を期待したい。 ・協働を進めてほしい。 ・民間企業と行政とがお互いの強みを活かし、弱みをカバーしていく。 ・連携、コミュニケーションづくり。 ・各まちづくり協議会との連携が必要。 ・連絡会議は単年度開催のものから、外部の人も入れた継続的に開かれるものにした。 ・成功している事例、先進事例を知りたい。
市民が地域の自慢を言えるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の人を呼び込む努力はしていると思うが、まず地元の人が地元のことを知らない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で自分たちの良い所を発見する取組もあると、その人たちが市外に出たときに愛着を持って掛川を紹介でき、観光客も来てくれるのではないかな。 ・商店主や市民が地域の自慢を言えるようにすることが大切。 ・県外や海外など市外から移住してきた住民の声で、掛川の良いところを市民に気づかせたい。 ・富士山や茶文字などの眺めの良いスポットを聞き出す。 ・掛川の良いところを再発見する取組みが大切。
周遊コースの情報の整理と充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・これを見れば全部わかるような一本化したものがあると良い。 ・掛川駅周辺のマップをあちこちでつくっている。みんなでお金を出し合っって一つの良いマップをつくった方が良い。 ・ビギナーコース、歴史好きコースなど発展していけば、今度はこのコースで来ようとか、リピーターに繋がっていくと思う。 ・ドライブコースも。 ・観光客の目線に立って、実現可能な観光ルートを紹介する。
暮らし良さを感じる滞在型観光	<ul style="list-style-type: none"> ・掛川は観光地というより住むのにすごく適したところ。 ・穏やかでのんびりしてて、子育てや老後の暮らしによさそう。 ・掛川は長く居てもらう方が良さがわかる。 ・お試し居住で掛川の暮らし良さを感じてもらってはどうか。旅行+住むことを組み合わせた観光はどうか。
駅からお城の間は観光地的でも良い	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺はいろいろなものがあるので観光地的でも良いと思う。 ・駅からお城までの間は楽しめるお店が並んでると良い。 ・まちなみと合わせてまち歩きが楽しめる所になるとすごく良い。
市民を観光に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を観光ボランティアに育てていく。きちんと対価を得られる仕組みが必要。 ・掛川は市民団体が多い。できることは協力してもらえれば良いが、把握しきれていないのではないかな。 ・人が活躍できる場の提供が必要。イベントや情報発信など。
情報発信を工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の工夫が必要。アナログのマップとSNSの情報とが一致しているとわかりやすい。 ・各地で広報紙がつくられていると思うが、それらを紹介し合いたい。 ・ランドマークの掛川城で、市全体の観光案内をしてもらいたい。
シティプロモーションと方向を合わせる	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズはシティプロモーション「あなたの夢、描いたつづきは掛川で。」と合わせるのが良い。 ・市民、行政が同じ方向を向くようにする。
掛川の食材を使ったB級グルメづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・B級グルメに取り組んではどうかな。掛川の食材や調味料を使ってもらうことを条件に、各店舗でとんぺいを創り出してもらうのはどうか。 ・さつま芋スティックや牛串のように持ち歩ける形だと良い。
ラグビー、オリパラの機会を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・「功名が辻」の反省から、今度のラグビーとオリパラについてこれだけで終わらせてはいけないと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流センターで、ラグビーやオリパラに向けてガイドを育成するそうだが、ガイドの会としてできることがあれば協力したい。
施設や案内板を適切に維持管理する	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内板の維持管理や改修が必要。 ・掛川城の管理も教育委員会や公園管理担当課など複数課で行っている。ヨコのつながりを持ってやっていった方が良い。
掛川城周辺の駐車場の再整備、活用	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな駐車場があちこちにあるより、まとまった駐車場がある方がわかりやすい。 ・イベントのときはお城周辺の駐車場を無料開放できないか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi などハード面の整備を進めてほしい。 ・行政頼みにならない「個」づくりが必要。 ・パワースポット、幸せになれる場所など、掛川の歴史をこれからつくりたい。 ・東海道の宿場つながりで、ウォーキングやサイクリングで、県内でヨコの連携ができたら面白い。 ・施設名は洒落すぎるとわかりにくいので、素朴な名前が良い。 ・エコパのコンサートやスポーツ大会に来た人をいかに掛川の観光に誘導したい。

5 用語解説

あ

インフラツーリズム

ダムや橋などのインフラそのものを観光に活用する取組。管理者が実施する現場見学だけではなく、民間の旅行会社が企画立案して有料で開催されるツアーもある。

エコパ

小笠山総合運動公園。スタジアム、アリーナ等をはじめとする各種スポーツ施設と、広大な小笠山の自然を合わせ、供用面積は約 270 ヘクタールと広大な公園。

NPO 法人時ノ寿の森クラブ

未来の子どもたちにふるさとの森を本来の姿で引き継ぐ活動をしている NPO 法人。

か

輝くかけがわ応援大使

掛川市にゆかりがあり、国内外への情報発信力のある方を通じて、シティプロモーション活動を行う取組。

掛川お茶大使

「掛川茶」の知名度向上、消費拡大及び活力ある「お茶のまち掛川」づくりに資するために、掛川市に在住または出身で掛川茶を愛飲する、全国において社会的に活躍する方を任命する仕組み。

掛川交流型ツーリズム

掛川の地に根付くあらゆる産業や活動、生活そのものを地域資源や文化遺産と捉え、パンフレット等には載っていない情報を当事者たちが語り、案内するガイドツーリズムの確立を目指した取組。

掛川桜

掛川市で田旗康二氏により育成されてカンビザクラ系統の品種で、掛川城の南側を流れる逆川沿いの両岸に約2km に渡り約 300 本が植えられている。

掛川塾

地域のお茶関連事業者が中学校で授業を行い、掛川茶の魅力を中学生に伝えている。

掛川スタディ

緑茶の生活習慣病予防研究。東北大学、九州大学、野菜茶業研究所、掛川市が協力して、平成 21 年度から平成 23 年度まで掛川市民を対象とした大規模な研究を実施した。

かけがわ茶エンナーレ

掛川の特徴的な文化や地域資源と掛川茶の融合により、掛川市や掛川茶の新たな魅力を創造し、発信する茶文化創造プロジェクト。

掛川茶マイスター

お茶の知識や掛川のお茶に深く精進し、実際に掛川茶を美味しく入れることができる人。

掛川まる得パスポート

6施設(①掛川城②竹の丸③二の丸茶室④掛川花鳥園⑤ステンドグラス美術館⑥二の丸美術館)の入館・入場料の割引サービス。さらに飲食店や土産物店の割引やプレゼントも受けられる。

掛川茶わらびもち

掛川菓子工業組合が開発した、伝統的なわらびもちに掛川産のお茶を加えた創作菓子。

かけがわ未来づくり会議

掛川のまちそのものをキャンパスとして、観光関連事業者や従業員の参加する地域課題解決に向けた人材育成講座。

御衣黄(ぎょいこう)

「緑の桜」として知られる八重桜の一種で、全国的にも珍しい種。普通の桜が散り始める頃に入れ替わるように咲き始め、4月中旬から下旬にかけて満開となる。

互産互消

その地域ならではの生産物や旬を大切にし、地域間交流の取組により、互いの良い物(これしか、ここしか、いましかない)を交換消費すること。また、それぞれの素材や資源を活かし合う組み合わせなどにより、6次産業化ビジネスへの発展が可能。

さ

SUP(スタンドアップパドルボード)

水上で専用のサーフボードに立ち、パドルを漕ぐスポーツ。

JNTO 認定外国人観光案内所カテゴリー2

少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域案内の機能を持つ観光案内所。

シティミュージアム掛川構想

市民や来訪者が気軽に文化芸術に触れあうことができるようにする掛川市の施策。

市民先生ナビ

各種講座を受講、技術習得した市民を「市民先生」として登録し、地域の子どもの育成活動への参加を促す仕組み。

重要文化的景観

平成 16 年の文化財保護法の一部改正によって始まった、新しい文化財保護の手法。

生涯学習都市宣言

市民と掛川市が総意として、生涯学習を通じてより充実した人生を送ること、より住みやすいまちを創ることを明らかにするために、2007(平成 19)年に生涯学習都市宣言を行った。掛川市の生涯学習とは、学習をしつつ、さらに学んだことを人づくり・まちづくりにいかそうとするものをいう。旧掛川市は 1979(昭和 54)年に日本で最初に生涯学習都市宣言をした。

静岡の茶草場農法

秋冬期に茶園周辺のススキやササなどの草を刈り、茶園に敷く、伝統的な農法。静岡県の茶草場では、300 種類以上の草花が確認されており、うち絶滅危惧種9種が確認されるなど、生物多様性が保たれている。また、茶園に敷き草を施すことは、地温の調整や土壌水分の保持、雑草の抑制、土壌や肥料の流失防止、有機物の供給などの効果があると考えられる。そのような点が評価され、「静岡の茶草場農法」は、平成 25 年に世界農業遺産に認定された。

た

地区まちづくり協議会

地域が主体となって地域力を結集し、絆づくりのために、地区の将来像について、夢や地区にとって大切なことを語り合い、実施していく場。地域の住民をはじめ、自治会、地域生涯学習(地区)センター、地区福祉協議会、シニアクラブ、消防団、子ども会、PTAなどの地区内のさまざまな団体が参画する。

ちっちゃな文化展

横須賀地区に残る古き良き街並みをそっくりそのまま美術館にしてみようというイベント。

中東遠地区

磐田市、袋井市、掛川市、菊川市、御前崎市、森町の5市1町。

デジタルサイネージ

屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ネットワークに接続したディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムの総称。

デスティネーションキャンペーン(DC)

JRグループ・観光業者・自治体が連携して行う大型観光キャンペーン。

な

二宮尊徳

江戸時代後期に現在の神奈川県小田原市の農家に生まれ、「報徳仕法」によって次々と農村を復興した。二宮金次郎としても有名。

日本版DMO

協働による明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。県内では既に、(公社)静岡県観光協会、(公財)するが企画観光局、(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、(一社)美しい伊豆創造センター、の4つの日本版 DMO が立ち上がっている。

は

バイク・フレンドリー・ステーション

公共施設や観光協会会員の協力のもと設置した、サイクリストの立ち寄り所。簡単な修理や点検などの場所として、3種類のバルブに対応できるタイプ空気入れと、六角レンチ、ドライバーなどを準備してある。

原泉アートプロジェクト

掛川市の原泉地区(大和田、孕丹、萩間、居尻、黒俣)を舞台に、現代アートによって地域の魅力を見つけていく取組。

ピクトグラム

案内用図記号。

ファミトリップ

観光地の誘致促進のため、ターゲットとする国の旅行事業者やブロッガー、メディアなどを現地に招いて視察してもらうツアー。

フィルムコミッション活動

野外での撮影(ロケ撮影)を希望する映画やドラマ等の映像製作関係者の円滑な撮影を実現するための各種支援活動。

深蒸し茶

市の特産。普通煎茶よりも蒸し時間を2倍から3倍長くする製法により、水色が濃厚で自然の甘みを感じられる深い味わいになる。

富士山静岡空港周辺地域観光振興研究会

掛川市、牧之原市、御前崎市、島田市、藤枝市、菊川市、川根本町、吉田町の富士山静岡空港の周辺6市2町で構成し、空港の利用促進を目的に活動している協議会。

プロジェクションマッピング

映像やCGを、建物や空間など立体物に投影する技法。

ポッドキャスト

インターネットで配信されているラジオやニュース番組、レッスンなどを好きな時に聴取できるシステム。

ほのぼのパス

掛川駅の南北連絡道の愛称。

ま

MICE

企業会議(Meeting)、企業の報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・イベント(Exhibition/Event)を総称したものの。

まちゼミ

市内のお店が講師となり、専門的な知識や情報を無料で楽しく学んでもらう少人数制のミニ講座。

ら

歴史的風致維持向上計画

地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律に基づき、歴史的風致の維持及び向上に関する施策を推進するための計画。

「歴史的風致」とは、地域における固有の歴史や伝統を反映した人々の活動と、活動が行われる歴史上価値の高い建造物及び周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境のこと。

6 掛川市観光振興計画策定委員会名簿

(敬称略)

役割	分野	所属	氏名
委員長	学識者	静岡県立大学	岩崎 邦彦
副委員長	観光施設、 農業、インバウンド*	掛川観光協会	平野 正俊
委員	文化・歴史	観光ボランティアが'仆' 「猫の手の会」	安藤 ミエ
〃	スポーツ	静岡県サイクル ツーリズム協議会	提坂 真希子
〃	観光施設	つま恋リゾート彩の郷	佐野 直樹
〃	文化・歴史、地域団体	遠州横須賀倶楽部	竹内 誠人
〃	有識者	(一社)SACLABO	渡村 マイ
〃	商・食・文化・歴史	これっしか処	中田 繁之
〃	地域団体	まちづくり協議会 大須賀第一地区	日沢 真紀
〃	インバウンド*	掛川国際交流 センター登録	ビッケル 純世
〃	文化・歴史、観光施設	資生堂アートハウス	眞家 恵子
〃	茶、食	(株)武藤	武藤 太郎
〃	企画、IT、子育て	CA 向けサイト 「掛川育ママキャリアシェア iNG」	母里 比呂子
〃	観光施設	掛川花鳥園	八木 裕幸
〃	茶、農泊、 グリーンツーリズム	NPO法人時ノ寿の森	山田 幸一